平成26年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 26年6月 ~ 26年8月)

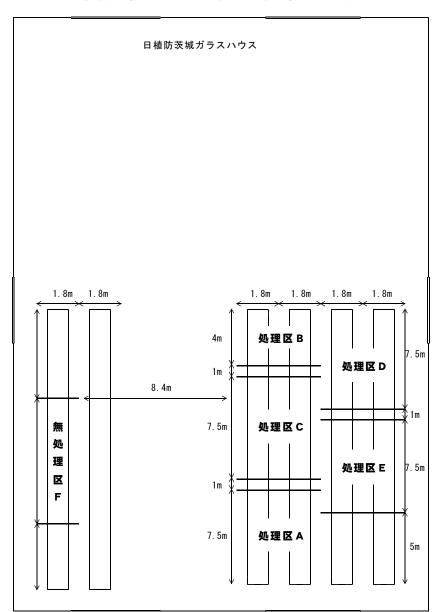
1. 被験物質

②ジフルベンズロン(デミリン)水和剤 ③フルバリネート(マブリック)水和剤20 ④ヘキシチアソクス(ニッツラン)水和剤 ⑤ブロシミドン(スミレックス)水和剤 ⑥シロマジン(トリガード)液剤 ① B P MC (バッサ)乳剤 ③ 1・ナフタレン酢酸ナトリウム(アークランド)液剤 ① D M T P (スプラサイド)水和剤 ① P A P (エルサン)乳剤 ① D A P (エルサン)乳剤 ② D M T P (スラナン)乳剤 ③ 20 チアニジン(ダントツ)水溶剤 ② グーチアニジン(ダントツ)水溶剤 ③ タロチアニジンがメート ② ジフルベンズロン 23.5% ② フルベリネート 20% ② ブルベリネート 20% ③ フルバリネート 20% ⑥ シロマジン 50% ⑥ ブロシミドン 50% ⑥ ジロマジン 8.7% ⑦ B P M C 50% ⑥ シロマジン 8.7% ⑦ B P M C 50% ⑥ シロマジン 8.7% ⑦ B P M C 50% ⑥ リアセタミブリド 20% ② D M T P 36% ⑥ P A P 50% ② アルベンズロン 20% ③ D M T P 36% ⑥ P A P 50% ⑥ 1 アセタジン酢酸塩 5 %、ポリオキシン複合体 15% ② は動物質のLot No. ① 17.10 S3F12 ② 18-10 05001 ③ 16.10 D3B01 ② 16.10 SBL-026 ⑤ 17.10-HA317 ⑥ 18.10 3X18N ⑦ 17.10 4225N ⑤ 16.10 88012 ⑤ 16.10 N4D04 ⑥ 107.10 16 105001 ⑥ 11.10 HC1-013SN ⑥ 18.10 107.10 HC10-013SN ⑥ 18.10 107.10 HC10-013SN ⑥ 18.10 3226N ⑥ 18.10 EJA059 ⑥ 18.10 3920N ⑥ 17.10 D4E02 ② L 農作物名 メロン 品種名 クインシー 3. 試験実施機関名 大ロン 品種名 クインシー 3. 試験実施機関名 素田久孝、皆川保雄、森田恭充、増尾重治、橋本龍治、柑本俊樹、川北充彦 後藤直人、丸山直哉、有波友紀 3. 土性 砂土・砂壌土・(壌土・塩土 (○を付す) 減水深 - cm/日	②ジフルベンズロン(デミリン)水和剤20 ①フルベリネート(マブリック)水和剤20 ①ヘキシチアゾクス(ニッソラン)水和剤 ⑥シロマジン(トリガード)液剤 ① B P M C (バッサ)乳剤 ③ 1 - ナブタレン酢酸ナトリウム(アークランド)液剤 ① D M T P (スプラサイド)水和剤 ② P A P (エルサン)乳剤 ③ 1 - ナフタレン酢酸ナトリウム(アークランド)液剤 ② D M T P (スプラサイド)水和剤 ② M E P (スミチオン)乳剤 ③ クロチアニジン(ダントツ)水溶剤 ③ A (ルメトリン(アディオン)乳剤 ③ オミノクタジン酢酸塩(ボリベリン)水和剤 ② フルベリスート ② ジフルベンズロン 23.5% ② フルベリスート ② ジフルベンズロン 23.5% ③ フルバリネート ② ジフルベンズロン 23.5% ③ フルバリネート ② ジアルベンズロン 20% ④ トキシチアゾクス 10% ⑤ プロシミドン 50% ⑥ シロマジン 8.7% ⑦ B P M C 50% ⑥ シロマジン 8.7% ⑦ B P M C 50% ⑥ D M T P 66% ⑥ P A P 50% ② M E P 50% ② M E P 50% ② M E P 50% ③ A (ルメトリン(アディデリド) 20% ② M E P 50% ③ D M T P 60% ③ D M T P 60% ③ D M T P 60% ③ D M T P 50% ③ D M T P 50% ③ M E P 50% ③ M E P 50% ③ M E P 50% ⑤ M C 16 10 SBL-026 ⑤ 17.10-HA317 ⑥ 18.10 3X18N ⑤ 17.10 HCB001 ⑥ 17.10 HCJ-013SN ② 18.10 3X26N ⑥ 17.10 HCB001 ⑥ 17.10 HCJ-013SN ② 18.10 3Z26N ⑥ 18.10 E JA059 ⑥ 18.10 3920N ⑥ 17.10 D4E02 ② L 農作物名 メロン 品種名 クインシー 3. 試験責任者氏名 森田久孝、皆川保雄、森田恭充、増尾重治、橋本龍治、椎本俊樹、川北充彦 後藤直人、丸山直蔵、有波友紀 3. 誠数責任者氏名 森田久孝、皆川保雄、森田恭充、増尾重治、橋本龍治、椎本俊樹、川北充彦 後藤直人、丸山直蔵、有波友紀	. 1040 1050	
②ジフルベンズロン 23.5% ③フルバリネート 20% ④ヘキシチアソクス 10% ⑤プロシミドン 50% ⑥シロマジン 8.7% ⑦ B P M C 50% ⑥リロマジン 8.7% ⑦ B P M C 50% ⑥リーナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% ⑨ D M T P 36% ⑥ P A P 50% ⑥ クロチアニジン 16% ⑥ クロチアニジン 16% ⑥ クロチアニジン 16% ⑥ グルメトリン 20% ⑥ オミノクタジン酢酸塩 5%、ポリオキシン複合体 15% 3) 被験物質のLot No. ① 17.10 S3F12 ② 18-10 05001 ③ 16.10 D3B01 ⑥ 17.10 HA317 ⑥ 18.10 3X18N ⑦ 17.10 1 4225N ⑥ 16.10 88012 ⑥ 16.10 N3X18N ⑦ 17.10 HCJ-013SN ② 18.10 3226N ⑥ 18.10 3920N ⑤ 17.10 D4E02 ② . 農作物名 メロン 品種名 クインシー 3. 試験実施機関名 大ロン 品種名 クインシー 3. 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦後藤直人,丸山直哉,有波友紀 5. 土性 砂土・砂壌土・塡土・埴壌土・塩土(○を付す) 減水深 - cm/日 5. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても細いません)	②ジフルベンズロン 23.5% ③フルバリネート 20% ④ヘキシチアゾクス 10% ⑤ブロシミドン 50% ⑥シロマジン 8.7% ⑦BPMC 9.1ーナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% ⑨DMTP 36% ⑩PAP 50% ⑥シロチアニジン 16% ⑥タロチアニジン 16% ⑥タロチアニジン 16% ⑥ペルメトリン 20% ⑥オミノクタジン酢酸塩 5%、ポリオキシン複合体 15% 3) 被験物質のLot No. ①17.10 S3F12 ②18-10 05001 ③16.10 D3B01 ④15.10 SK18N ②17.10 HA317 ⑥18.10 3X18N ③17.10 HG001 ⑪17.10 HCJ-013SN ②18.10 3Z6N ⑥17.10 HCJ-013SN ②18.10 3Z6N ⑥18.10 EJA059 ⑭18.10 3920N ⑤17.10 D4E02 2. 農作物名 メロン 品種名 クインシー お試験責任者氏名 森田久孝、皆川保雄、森田恭充、増尾重治、橋本龍治、柑本俊樹、川北充彦後藤直人、丸山直哉、有波友紀 5. 土性 砂土・砂壌土・壌土・塩土(〇を付す) 減水深 - cm/日 6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても横いません)	i)一般名・剤型	②ジフルベンズロン(デミリン)水和剤 ③フルバリネート(マブリック)水和剤20 ④ヘキシチアグクス(ニッソラン)水和剤 ⑤プロシミドン(スミレックス)水和剤 ⑥シロマジン(トリガード)液剤 ⑦ B P M C (バッサ)乳剤 ⑧ 1-ナフタレン酢酸ナトリウム(アークランド)液剤 ⑨ D M T P (スプラサイド)水和剤 ⑩ P A P (エルサン)乳剤 ⑪ アセタミプリド(モスピラン)顆粒水溶剤 ⑫ M E P (スミチオン)乳剤 ⑫ M E P (スミチオン)乳剤 ⑫ M C P (スミチオン)乳剤
(④16.10 SBL-02G ⑤17.10-HA317 ⑥18.10 3X18N ⑦17.10 4225N ⑧16.10 88012 ⑨16.10 N4D04 ⑩17.10 HCB001 ⑪17.10 HCJ-013SN ⑫18.10 3Z26N ⑬18.10 EJA059 ⑭18.10 3920N ⑬17.10 D4E02 2. 農作物名 メロン 品種名 クインシー 3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所 試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町5 3 5番地 3. 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,增尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦後藤直人,丸山直哉,有波友紀 3. 土性 砂土・砂壌土・壌土・埴土(○を付す) 減水深 - cm/日	 ④16.10 SBL-02G ⑤17.10-HA317 ⑥18.10 3X18N ⑦17.10 4225N ⑧16.10 88012 ⑨16.10 N4D04 ⑩17.10 HCB001 ⑪17.10 HCJ-013SN ⑫18.10 3Z26N ⑬18.10 EJA059 ⑭18.10 3920N ⑤17.10 D4E02 品機作物名 メロン 品種名 クインシー 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所 試験更施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦後藤直人,丸山直哉,有波友紀 ・ 、試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦 後藤直人,丸山直哉,有波友紀 ・ 、土性 砂土・砂壌土・壌土・埴土(○を付す) 減水深 - cm/日 ・ 。過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません) 	2) 有効成分名及び	②ジフルベンズロン 23.5% ③フルバリネート 20% ④ヘキシチアゾクス 10% ⑤プロシミドン 50% ⑥シロマジン 8.7% ⑦BPMC 50% ⑧1ーナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% ⑨DMTP 36% ⑩PAP 50% ⑪アセタミプリド 20% ⑫MEP 50% ⑬クロチアニジン 16% ⑭ペルメトリン 20%
 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所 試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町535番地 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦後藤直人,丸山直哉,有波友紀 土性 砂土・砂壌土・壌土・埴生(○を付す) 減水深 - cm/日 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬(別紙としても構いません) 	 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所 試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町535番地 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦後藤直人,丸山直哉,有波友紀 土性 砂土・砂壌土・(壌土・塩土(○を付す) 減水深 - cm/日 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません) 	3)被験物質のLot	\$\bar{\Pi}\$ (16. 10 SBL-02G) \$\bar{\Bar{\Bar{B}}}\$ (17. 10-HA317) \$\bar{\Bar{\Bar{B}}}\$ (18. 10 3X18N) \$\bar{\Bar{T}}\$ (17. 10 4225N) \$\bar{\Bar{B}}\$ (16. 10 88012) \$\bar{\Bar{B}}\$ (16. 10 N4D04) \$\bar{\Bar{B}}\$ (17. 10 HCJ-013SN) \$\bar{\Bar{B}}\$ (218. 10 3Z26N)
試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町535番地 . 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦 後藤直人,丸山直哉,有波友紀 . 土性 砂土・砂壌土・壌土・埴土(○を付す) 減水深 - cm/日 . 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬(別紙としても構いません)	試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町 5 3 5 番地 . 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦 後藤直人,丸山直哉,有波友紀 . 土性 砂土・砂壌土・(壌土・埴生(〇を付す) 減水深 - cm/日 . 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	. 農作物名	メロン 品種名 クインシー
試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町535番地 . 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦 後藤直人,丸山直哉,有波友紀 . 土性 砂土・砂壌土・壌土・塩土(○を付す) 減水深 - cm/日 . 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町 5 3 5 番地 . 試験責任者氏名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,増尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦 後藤直人,丸山直哉,有波友紀 . 土性 砂土・砂壌土・(壌)・埴壌土・埴土(〇を付す) 減水深 - cm/日 . 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	試験実施機関	名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所
後藤直人,丸山直哉,有波友紀 . 土性 砂土・砂壌土・壌土・埴壌土・埴土(〇を付す) 減水深 - cm/日 . 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	後藤直人,丸山直哉,有波友紀 . 土性 砂土・砂壌土・壌土・埴生(〇を付す) 減水深 一 cm/日 . 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	試験圃場所在均	支 茨城県牛久市結束町535番地
後藤直人,丸山直哉,有波友紀 . 土性 砂土・砂壌土・壌土・埴壌土・埴土(〇を付す) 減水深 - cm/日 . 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	後藤直人,丸山直哉,有波友紀 . 土性 砂土・砂壌土・壌土・埴生(〇を付す) 減水深 一 cm/日 . 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	. 試験責任者氏:	名 森田久孝,皆川保雄,森田恭充,增尾重治,橋本龍治,柑本俊樹,川北充彦
. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)		後藤直人, 丸山直哉, 有波友紀
. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	. 土性 砂土・	砂壌土・壌土・埴集土・埴土 (○を付す) 減水深 - cm/日

地・施設の別	施設(ガラスハウス)	有袋・無袋の別 一
香種:平成26年4	4月8日、定植:5月1日、立体制	
战植密度:畝間:	180cm、株間50cm、条間50cm、	2条植え(マルチ被覆)、2222株/10a、
五肥(10a当たり):		
Y区共通:平成2	26年4月18日堆肥 2000kg、菜	っとく有機(10-7-5) 50kg・過石(0-17.5-0) 57kg、
	硫加(0-0-50) 10kg、6月23	8日くみあい尿素複合液肥 400倍
その他の管理	は、慣行に従った。	
収穫適期(適期]):7月下旬	
. 被験物質以	↓外に使用した農薬 (別紙とし	しても構いません)
5月 13 日 ダコニー	ル1000 1000倍・アドマイヤー顆粒	水和剤10000倍
5月27日TPN53	%フロアブル1500倍・チェス顆粒水	和剤5000倍・ロブラール水和剤1000倍
	乳剤2000倍・ダコニール1000 10	
6月13日 モレスタン	水和剤3000倍・ダコニール1000	1000倍・コロマイト乳剤1000倍
7月 1日 モレスタン	/水和剤3000倍・ダコニール1000	1000倍・アファーム乳剤1000倍
7月 9日アドマノ	付ー水和剤2000倍・アファーム乳剤	2000倍・モレスタン水和剤3000倍
). 試験区		
試験区の面積お	よび(株) 数	
処理区A:27.0	m ² (7.5m×1.8m×2畝) 60株、	処理区B:14.4㎡(4.0m×1.8m×2畝) 32株
処理区C:27.0	m ² (7.5m×1.8m×2畝) 60株、	処理区D:27.0㎡(7.5m×1.8m×2畝) 60株
処理区E:27.0	m ² (7.5m×1.8m×2畝) 60株、	無処理区F:18.0㎡(10m×1.8m×1畝) 40株
施設の場合、面	ⅰ積・容積・高さ	
各区共通 面積	 {:874㎡、高さ:4.5m、容積	: 2840.5 m³

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としてもかまいません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹 1 樹は点を〇で囲んで表し、必要に応じて枝の 伸長方向を記載して下さい。 イ)試験区間および試験区と無処理区の間の距離を記入して下さい。
- ウ)圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。





区分	Α区	B区	○ ☑	D区	ᆫᅜ	F 区	加亚曲中		処 理	量	処理時の生育	加珊士汁(挪吸)
<u> 理月日</u>	A 区	ᄧᅜ	C区	DE	Ε区	F K	処理濃度	1 O a 当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		処理方法(概略)
H26年6月23日	ジマンダイセン					無処理	400倍	256L	17. 25g/6. 9L/27. 0 m ²	22.50g/9L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎 葉 散 布
6月30日	ジマンダイセン						400倍	293L	19.75g/7.9L/27.0 m²	22.50g/9L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎 葉 散 布
7.0 7.0	ジマンダイセン						400倍	0001	19.75g/7.9L/27.0 m²	22.50g/9L	果実肥大期	古 恭 斯 <i>大</i> (河 田)
7月 7日	デミリン						1500倍	293L	5. 27g/7. 9L/27. 0 m²	6.00g/9L	(草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
	ジマンダイセン						400倍		19.75g/7.9L/27.0 m ²	22.50g/9L		茎葉散布 (混用)
7月 14日 -	デミリン						1500倍	0001	5. 27g/7. 9L/27. 0 m²	6.00g/9L	成熟期	
7月 14日	マブリック						2000倍	293L	3. 95g/7. 9L/27. 0 m²	4.50g/9L	(草丈約1.8m)	
	ニッソラン						2000倍		3.95g/7.9L/27.0 m²	4. 50g/9L		
	ジマンダイセン						400倍		19.75g/7.9L/27.0 m ²	22.50g/9L		
7 11 01 11	デミリン						1500倍	0001	5. 27g/7. 9L/27. 0 m²	6.00g/9L	収穫初期	****** (20)
7月21日	マブリック						2000倍	293L	3.95g/7.9L/27.0 m²	4. 50g/9L	(草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
	ニッソラン						2000倍		3. 95g/7. 9L/27. 0 m²	4.50g/9L]	
	•		•	•		•		•			果実成熟期	茎葉散布 (混用)

区分 処理方法の詳細、 処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 処理月日 処理時の環境条件等 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 H26年6月23日 時刻 16:00 ~ 16:47 天候:晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。 散布機器:背負式バッテリー (丸山 MSB111-A) 6月30日 時刻 16:10 ~ 16:18 天候:曇り(日中晴れ時々曇り)、風の影響なし。 ノズル : 縦型2頭口コーンノズル (麻場CPW-21.0) 7月 7日 時刻 13:50 ~ 13:58 天候:雨(雨のち曇り)、風の影響なし。 散布方法:1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。 7月14日 時刻 15:45 ~ 15:53 天候:晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。 7月21日 時刻 15:00 ~ 15:08 天候:晴れ(日中曇りのち晴れ)、風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、試験区間を、高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。 各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月7日は2剤、7月14日と7月21日は、それぞれ4剤を混用して薬液を作成した。

区分	Α区	В区	C区	D区	E区	F 区	処理濃度		処 理	量	処理時の生育	処理方法 (概略)	
処理月日	Α Δ	D E	d)		SI L	г 🗠	处垤辰茂	1 O a 当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量	ステージ	处理力法 (帆哈)	
H26年6月16日	\	ジマンダイセン				無処理	400倍	257L	9. 25g/3. 7L/14. 4 m²	15.00g/6L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎 葉 散 布	
6月23日		ジマンダイセン					400倍	257L	9. 25g/3. 7L/14. 4 m²	15.00g/6L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎 葉 散 布	
6月30日	<u> </u>	ジマンダイセン	\				400倍	292L	10.50g/4.2L/14.4 m ²	15.00g/6L	果実肥大期	茎葉散布 (混用)	
6月30日		デミリン					1500倍	292L	2.80g/4.2L/14.4 m²	4.00g/6L	(草丈約1.8m)	全果取和 (低用)	
7月 7日		ジマンダイセン					400倍	292L	10.50g/4.2L/14.4 m²	15.00g/6L	果実肥大期	茎葉散布 (混用)	
77 7 1		デミリン			\		1500倍	292L	2.80g/4.2L/14.4 m²	4.00g/6L	(草丈約1.8m)	全果取和 (此用)	
7 8 14 0		ジマンダイセン					400倍	2021	10.50g/4.2L/14.4 m²	15.00g/6L	成熟期	芸善サ 左 (須田)	
7月14日		デミリン					1500倍	292L	2.80g/4.2L/14.4 m²	4.0g/6L	(草丈約1.8m)	茎葉散布(混用)	

区分	処理方法の詳細、 処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
処理月日	処理時の環境条件等 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H26年6月16日		時刻 9:30 ~ 9:34 天候:晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
6月23日	散布機器:背負式バッテリー (丸山 MSB111-A) ノズル :縦型2頭口コーンノズル (麻場CPW-21.0)	時刻 16:15 ~ 16:19 天候:晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
6月30日	カスル : 概至2頭ロコーンノスル (M 場で 1.0) 散布方法: 1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 16:35 ~ 16:40 天候:曇り (日中晴れ時々曇り)、風の影響なし。
7月 7日		時刻 14:00 ~ 14:05 天候:雨(日中雨のち曇り)、風の影響なし。
7月14日		時刻 15:10 ~ 15:15 天候:晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。

(1)展着剤 使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、試験区間を高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。 各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、6月30日、7月7日および7月14日は、それぞれ2剤を混用して薬液を作成した。

区分	Α区	В区	C 区	D区	E区	F 区	処理濃度		処 理	量	処理時の生育	処理方法 (概略)
処理月日	ΑĿ	SI D	CE		SI L	r L	处垤辰茂	1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		处垤万法 (似略)
H26年6月30日			バッサ			無処理	1500倍	293L	5.3m1/7.9L/27.0m ²	6.0m1/9L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎 葉 散 布
			スミレックス				2000倍		3.95g /7.9L/27.0 m ²	4.50g/9L		
7月 7日			トリガード				1000倍	293L	7.9m1/7.9L/27.0m²	9.0m1/9L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
			バッサ				1500倍		5.3m1/7.9L/27.0m²	6.0m1/9L	(+3¢//311 sm/	
	/		スミレックス				2000倍		3.95g /7.9L/27.0 m ²	4.50g/9L		
7月14日			トリガード		\		1000倍	293L	7.9m1/7.9L/27.0m²	9.0m1/9L	成熟期 (草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
			バッサ				1500倍		5.3m1/7.9L/27.0 m²	6.0m1/9L		
			スミレックス				2000倍		3.95g /7.9L/27.0 m ²	4.50g/9L		
7月21日			トリガード		\		1000倍	293L	7.9m1/7.9L/27.0 m²	9.0m1/9L	収穫初期 (草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
		\	バッサ				1500倍		5.3m1/7.9L/27.0 m ²	6.0m1/9L		

区分	処理方法の詳細、 処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
処理月日	処理時の環境条件等 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H26年6月30日		時刻 15:40 ~ 15:48 天候:晴れ(日中晴れ時々曇り)、風の影響なし。
7月 7日	散布機器:背負式バッテリー (丸山 MSB111-A) ノズル : 縦型2頭口コーンノズル (麻場CPW-21.0)	時刻 13:50 ~ 13:58 天候:雨(日中雨のち曇り)、風の影響なし。
7月14日	カスル : 減空2頭ロコーンノスル (林場CFW-21.0) 散布方法: 1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 15:50 ~ 15:58 天候:晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
7月21日		時刻 13:45 ~ 13:53 天候:晴れ (日中曇りのち晴れ)、風の影響なし。

(1)展着剤 使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、試験区間を高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。 各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月7日、7月14日および7月21日は、それぞれ3剤を混用して薬液を作成した。

区分	A区	В区	C区	D 区	E区	F 区	処理濃度		処 理	里	処理時の生育	処理方法 (概略)
処理月日	AL	스 스	S C		ㄷ뇬	ГЬ	処理振度	1 O a 当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		处理力法 (僦船)
H26年6月30日	\setminus			エルサン		無処理	1000倍	293L	$7.9 \text{m} 1/7.9 \text{L}/27.0 \text{m}^2$	9.0m1/9.0L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎 葉 散 布
7月 7日				エルサン			1000倍	293L	7.9m1/7.9L/27.0 m²	9.6m1/9.6L	果実肥大期	茎葉散布 (混用)
7,7,7,0	. \			モスピラン			8000倍	293L	0.99g/7.9L/27.0 m ²	1.20g/9.6L	(草丈約1.8m)	全米取41(此用)
		/		アークランド			1000倍		$7.9 \text{m} 1/7.9 \text{L}/27.0 \text{ m}^2$	9.6m1/9.6L		
7 日 1 4 日				スプラサイド			1000倍	293L	7.90g/7.9L/27.0 m²	9.60g/9.6L	成熟期	茎葉散布(混用)
7月 14日				エルサン			1000倍	293L	7.9m1/7.9L/27.0m²	9.6m1/9.6L	(草丈約1.8m)	圣梟舣仰 (祇用)
				モスピラン			8000倍		0.99g/7.9L/27.0 m²	1.20g/9.6L		
		,	\	アークランド			1000倍		7.9m1/7.9L/27.0 m ²	9.6m1/9.6L		
7月21日 -				スプラサイド	\		1000倍	0001	7. 90g/7. 9L/27. 0 m²	9.60g/9.6L	収穫初期	茎葉散布 (混用)
				エルサン	\		1000倍	293L	7.9m1/7.9L/27.0 m ²	9.6m1/9.6L	· (草丈約1.8m)	
			/	モスピラン			8000倍		0.99g/7.9L/27.0 m²	1.20g/9.6L	1	

果実成熟期 茎葉散布(混用)

区分	処理方法の詳細、 処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
処理月日	処理時の環境条件等 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H26年6月30日	## ★	時刻 16:25 ~ 16:33 天候:晴れ(日中晴れ時々曇り)、風の影響なし。
7月 7日	散布機器:背負式バッテリー(丸山 MSB111-A) ノズル :縦型2頭口コーンノズル(麻場CPW-21.0)	時刻 14:20 ~ 14:28 天候:雨(日中雨のち曇り)、風の影響なし。
7月14日	散布方法:1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 16:20 ~ 16:28 天候:晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
7月21日		時刻 15:10 ~ 15:18 天候:晴れ(日中曇りのち晴れ)、風の影響なし。

(1)展着剤 使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2)備考 試験薬剤の散布時には、試験区間を高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。 各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月7日は2剤、7月14日および7月21日は4剤を、それぞれ混用して薬液を作成した。

区分	Α区	В区	C区	D区	E 🗵	F 区	処理濃度		処 理	里	処理時の生育	処理方法 (概略)
処理月日	ΑĿ	ㅁഥ	СБ	D I		г 🗠	处垤辰及	1 O a 当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量	ステージ	处理力法(似略)
	\				スミチオン	無処理	1000倍		6.9 m / 6.9 L / 27.0 m²	9.0m1/9.0L		
H26年6月23日					アディオン		2000倍	256L	3.5m1/6.9L/27.0m²	4.5m1/9.0L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
					ポリベリン		1500倍		4.60g/6.9L/27.0 m²	6.00g/9.0L		
					スミチオン		1000倍		7.9m1/7.9L/27.0 m ²	9.0m1/9.0L		
6月30日		\			アディオン		2000倍	293L	4.0m1/7.9L/27.0m²	4.5m1/9.0L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
					ポリベリン		1500倍		5. 27g/7. 9L/27. 0 m²	6.00g/9.0L		
					スミチオン		1000倍		7.9m1/7.9L/27.0 m ²	9.0m1/9.0L		
7月 7日					ダントツ		2000倍	293L	3.95g/7.9L/27.0 m ²	4.50g/9.0L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
7,5,7,0		\			アディオン		2000倍	293L	4.0m1/7.9L/27.0m²	4.5m1/9.0L		
			\		ポリベリン		1500倍		5. 27g/7. 9L/27. 0 m²	6.00g/9.0L		
					スミチオン		1000倍		7.9m1/7.9L/27.0 m ²	9.0m1/9.0L		
7月14日					ダントツ		2000倍	293L	3.95g/7.9L/27.0 m ²	4.50g/9.0L	成熟期	茎葉散布 (混用)
7月14日					アディオン		2000倍	293L	4.0m1/7.9L/27.0m²	4.5m1/9.0L	(草丈約1.8m)	全果取仰 (此用)
				\	ポリベリン		1500倍		5. 27g/7. 9L/27. 0 m²	6.00g/9.0L		
			_		スミチオン		1000倍		7.9m1/7.9L/27.0 m²	9.0m1/9.0L		
7月21日					ダントツ		2000倍	9091	3.95g/7.9L/27.0 m²	4.50g/9.0L	収穫初期 (草丈約1.8m)	茎葉散布 (混用)
7月21日					アディオン		2000倍	293L	4.0m1/7.9L/27.0m²	4.5m1/9.0L		圣 某 散 布 (混 用)
					ポリベリン		1500倍		5. 27g/7. 9L/27. 0 m²	6.00g9.0L		

区分	処理方法の詳細、 処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
処理月日	処理時の環境条件等 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H26年6月23日		時刻 17:10 ~ 17:17 天候:晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
6月30日	散布機器:背負式バッテリー (丸山 MSB111-A)	時刻 17:15 ~ 17:23 天候:曇り (日中晴れ時々曇り)、風の影響なし。
7月 7日	ノズル :縦型2頭口コーンノズル (麻場CPW-21.0) 散布方法:1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 14:50 ~ 14:58 天候:雨(日中雨のち曇り)、風の影響なし。
7月14日	散布方法:1休毋に、一定の時間で至体へ均一に散布した。	時刻 16:30 ~ 16:38 天候:晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
7月21日		時刻 14:15 ~ 14:23 天候:晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。

(1)展着剤 使用せず 使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2) 備考

試験薬剤の散布時には、試験区間を高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。 各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、6月23日および6月30日は3剤、7月7日、7月14日および7月21日は4剤を、それぞれ混用して薬液を作成した。

12. 試料採取(試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分採取月日		_	C 区 試料番号				G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順(区番号順)	試料送付量	試料送付月日	
H26.7月18日						F (無処理)		F区 時刻: 7:50 ~ 7:55 天候:曇り	F	F : 15個/27.7kg	7月18日	
7月22日			C = 1		E - 1			C区 時刻: 8:17 ~ 8:21 天候:晴れ	- C → E	C-1: 5個/9.9kg	7月22日	
7月22日			C - 1		E-1			E区 時刻: 8:37 ~ 8:40 天候:晴れ	C → E	E−1: 5個/9.7kg	17,221	
								A区 時刻: 7:22 ~ 7:26 天候:曇り		A-1: 5個/9.8kg		
7月24日	A - 1		C 9	D – 1	E - 2			C区 時刻: 8:59 ~ 9:03 天候:曇り	$A \rightarrow C \rightarrow D \rightarrow E$	C-2: 5個/10.1kg	7月24日	
7月24日	A - 1		C - 2	D-1	E-2			D区 時刻: 9:11 ~ 9:14 天候:曇り	$A \rightarrow C \rightarrow D \rightarrow E$	D-1: 5個/10.8kg	7月24日	
								E区 時刻: 9:19 ~ 9:22 天候:曇り		E-2: 5個/10.3 kg		
								A区 時刻: 7:30 ~ 7:33 天候:晴れ		A-2: 5個/10.3kg	5 H 00 H	
7月28日	A-2		G 0	D - 2	Б 0			C区 時刻: 8:20 ~ 8:23 天候:晴れ	A . C . D . F	C-3: 5個/10.7kg		
7月28日	A-Z		C – 3	D-2	E - 3			D区 時刻: 8:30 ~ 8:33 天候:晴れ	$A \to C \to D \to E$	D-2: 5個/11.1kg	7月28日	
								E区 時刻: 8:45 ~ 8:50 天候:晴れ		E-3: 5個/11.0kg		
								B区 時刻: 7:10 ~ 7:13 天候:晴れ		B : 5個/11.1kg		
8月 4日	8月 4日 A-3 B	В D-					A区 時刻: 7:17 ~ 7:19 天候:晴れ	$B \rightarrow A \rightarrow D$	A-3: 5個/11.0kg	8月 4日		
							D区 時刻: 7:30 ~ 7:33 天候:晴れ		D-3: 5個/11.1kg			

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に〇を付し、必要に応じてその原因を記載する)											
H26年7月18日	1. 試料の大きさは(やや大きい(通常)やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熱類は(やや早い(通常)やや過熱) 3. その他() 4. 原因										
7月22日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熱期は(やや早い 通常)やや過熱) 3. その他() 4. 原因										
7月24日	1. 試料の大きさは(やや大きい(通常)やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熱期は(やや早い(通常)やや過熱) 3. その他()4.原因										
7月28日	1. 試料の大きさは(やや大きい(通常)やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熱期は(やや早い(通常)やや過熱) 3. その他() 4. 原因										
8月 4日	1. 試料の大きさは(やや大きい(通常)やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熱期は(やや早い(通常)やや過熱) 3. その他() 4. 原因										
	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熱期は(やや早い 通常 やや過熱) 3. その他() 4. 原因										

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、

(「) 試 科 休 収 刀 法 採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各区、試験区境界部(南北)の株を除き、全体から大きさの揃った試料を鋏を用いて採取した。

(2)採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、

採取した試料は、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた(試験区ラベル同梱)。梱包は行わなかった。

- (**3)試料送付先 分析機関**: 一般社団法人日本植物防疫協会 茨城研究所
- (5) 備考 採取時は、清浄な手袋を装着して作業を行った。なお、手袋と鋏は試験区毎に交換した。

(H26グループ化:メロン) 試験場名 <u>一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所</u>

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所: 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所(ガラスハウス)

観測条件: 気温:平均気温(__1__時間毎)

(26年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6	施設内気温 (℃)																26. 9	26. 3	23. 6	26. 1	25. 8	26. 0	22. 6	24. 9	23. 1	23. 5	24. 4	25. 4	25. 0	25. 6	25. 5	
7	施設内気温 (℃)	27. 1	26. 8	25. 9	23. 0	23. 1	25. 7	23. 3	29.8	24. 3	26. 9	29. 7	30. 1	26. 2	29. 1	29. 9	29. 1	27. 1	25. 2	24. 1	25. 4	26. 0	29. 6	30. 4	30. 3	32. 0	32. 7	31. 3	28. 3	28. 9	30. 1	31. 3
8	施設内気温(℃)	31.6	33. 4	32. 5	31.9																											

別紙1. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

薬剤処理区

まくわうり: 平成25年 5月 2日 ベストガード粒剤2g/株植穴土壌混和

5月21日 サンヨール500倍・ジマンダイセン水和剤500倍・アドマイヤー顆粒水和剤5000倍

5月27日 粘着くん液剤100倍・ゴッツA500倍・モレスタン水和剤2000倍

6月 5日 ダコニール1000 1000倍・アドマイヤー顆粒水和剤5000倍・ベストガード水溶剤1000倍

6月13日 モレスタン水和剤2000倍 6月24日 フルピカフロアフ・ル2000倍

6月27日 サンヨール500倍・パ゚ンチョTF顆粒水和剤2000倍

7月8日,7月15日 モスピラン水溶剤4000倍

無栽培: 平成25年 8月22日 テロン 20L/10a 全面土壌点注処理

こまつな: 平成25年10月 1日 オラウル顆粒水和剤200倍500ml/セルトレイ灌注・オラウル粉剤30kg/10a全面土壌混和

10月 2日 ベンレート水和剤1000倍 10月 5日 アファーム乳剤2000倍

10月 7日 ラービンベイト2 4kg/10a全面散布

10月7日,10月14日,10月20日 ライメイフロアフ゛ル2000倍

10月15日 アクタラ顆粒水溶剤2000倍・アファーム乳剤2000倍・ダコニール1000 1000倍 10月29日 アドマイヤーフロアブル4000倍・ストロビーフロアブル3000倍・トレボン乳剤2000倍

11月18日 アファーム乳剤2000倍

チンゲンサイ: 平成25年10月2日 ガードベイトA 3ka/10a

10月5日, 10月16日, 10月22日, 11月18日 777-4乳剤2000倍

無栽培: 平成26年 4月 2日 ソイリーン 30L/10a 全面土壌点注処理

別紙2. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

無処理区

かぼちゃ: 平成25年 5月 7日 Eレスタン水和剤3000倍

5月10日,5月22日 コ゛ッツA 500倍

5月15日 モスピラン顆粒水溶剤2000倍

5月28日 ハチハチ乳剤2000倍・コ゛ッツA 500倍

5月31日 アファーム乳剤2000倍

6月 5日 ベストガード水溶剤1000倍・ゴッツA 500倍

6月11日 ハチハチ乳剤2000倍

6月17日 モレスタン水和剤2000倍

7月1日,7月8日,7月15日 トレホン乳剤1000倍

7月 2日 トリフミン水和剤4000倍

7月 5日 サンマイトフロアフ・ル1000倍・モレスタン水和剤2000倍 7月12日 モレスタン水和剤2000倍・アファーム乳剤2000倍

7月22日 アファーム乳剤2000倍・サンマイトフロアブル1000倍

無栽培: 平成25年 8月22日 テロン 20L/10a 全面点注

ペパーミント: 平成25年10月29日 フェニックス顆粒水和剤2000倍・ジマンダイセン水和剤800倍

11月18日 アミスター20フロアブル3000倍・アドマイヤー顆粒水和剤10000倍・トリフミン水和剤3000倍

11月26日 リゾレックス水和剤1000倍・スターナ水和剤2000倍

12月24日, 平成26年1月7日, 1月16日, 1月22日 ロブラール水和剤1000倍・2000倍

みつば: 平成25年10月29日 リゾ レックス水和剤500倍

12月 2日 スターナ水和剤2000倍

12月13日 ロブラール水和剤1000倍

12月26日 トップ・ジ・ンM水和剤2000倍 12月31日 ロブ・ラール水和剤1000倍

平成26年 1月17日 スミフ・レント・水和剤2000倍・アミスター20フロアフ・ル2000倍

1月24日、1月31日 ダコニール1000 1000倍

2月6日 ロブラール水和剤1000倍

2月18日 アドマイヤー顆粒水和剤10000倍

無栽培: 平成26年 4月 2日 ソイリーン 30L/10a 土壌点注

写真1. 試験区ハウス全景



写真4. 薬剤処理区間の遮蔽幕



写真7. A区1回目散布時の株の状況



写真2. 初回散布時の草勢 (6月16日)



写真5. 無処理区



写真8. A区1回目散布時の果実



写真3. 飛散防止用遮蔽幕(写真右側無処理区)



写真6. 散布状況



写真9. A区2回目散布時の株の状況



写真10. A区2回目散布時の果実



写真13. A区4回目散布時の株の状況



写真16. A 区5回目散布時の果実



写真11. A区3回目散布時の株の状況



写真14. A区4回目散布時の果実



写真17. B区1回目散布時の株の状況



写真12. A区3回目散布時の果実



写真15. A区5回目散布時の株の状況



写真18. B区1回目散布時の果実



写真19. B区2回目散布時の株の状況



写真22. B区3回目散布時の果実



写真25. B区5回目散布時の株の状況



写真20. B区2回目散布時の果実



写真23. B区4回目散布時の株の状況



写真26. B区5回目散布時の果実



写真21. B区3回目散布時の株の状況



写真24. B区4回目散布時の果実



写真27. C区1回目散布時の株の状況



写真28. C区1回目散布時の果実



写真31. C区3回目散布時の株の状況



写真34. C区4回目散布時の果実



写真29. C区2回目散布時の株の状況



写真32. C区3回目散布時の果実



写真35. D区1回目散布時の株の状況



写真30. C区2回目散布時の果実



写真33. C区4回目散布時の株の状況



写真36. D区1回目散布時の果実



写真37. D区2回目散布時の株の状況



写真40. D区3回目散布時の果実





写真38. D区2回目散布時の果実



写真41. D区4回目散布時の株の状況



写真44. E区1回目散布時の果実



写真39. D区3回目散布時の株の状況



写真42. D区4回目散布時の果実



写真45. E区2回目散布時の株の状況



写真46. E区2回目散布時の果実



写真49. E区4回目散布時の株の状況



写真52. E区5回目散布時の果実



写真47. E区3回目散布時の株の状況



写真50. E区4回目散布時の果実



写真53. 採取状況



写真48. E区3回目散布時の果実



写真51. E区5回目散布時の株の状況



写真54. A - 1 の大きさ



写真55. A-2の大きさ



写真58. C-1の大きさ



写真61. D-1の大きさ



写真56. A - 3 の大きさ

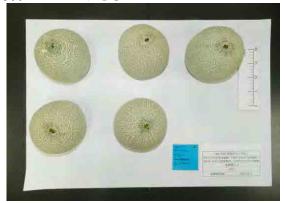


写真59. C-2の大きさ



写真62. D-2の大きさ



写真57. Bの大きさ



写真60. C-3の大きさ



写真63. D-3の大きさ

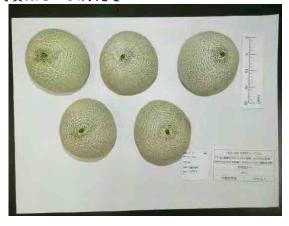


写真64. E-1の大きさ



写真67. Fの大きさ



写真65. E-2の大きさ



写真68. 分析担当者への輸送時の状態



写真66. E-3の大きさ

